



きほんの講座 ① - 1 定員60名

◆カレッジデビュー講座

主 題 まなびのコース1年生向けのおすすめ講座です。歴史・芸術や地域のことなど……それぞれの分野で活躍する方を講師にお迎えし、オムニバス形式でお届けします。これまで苦手意識を持っていたり、触れるチャンスがなかった分野に接する良い機会です。ご自身の新たな一面を発見してみませんか？

講座番号 ① - 1

時 間：午後6時30分～8時
場 所：築地社会教育会館
回 数：5回
受講料：1,500円

| 回数 | 日 程 | 講 義 内 容 | 講 師 名 |
|-----|-----------|---------------------------|--------|
| 第1回 | 10/11 (水) | 市民が拓き、地域文化を創る～心が動けば身体が動く～ | 多田 千尋 |
| 第2回 | 11/ 1 (水) | 身近にある錯覚 | 一川 誠 |
| 第3回 | 11/15 (水) | 今日の時点から明治維新を考える | 宮地 正人 |
| 第4回 | 11/22 (水) | 浮世絵がうつした中央区 | 渡邊 晃 |
| 第5回 | 12/ 6 (水) | 二胡の世界 | 酒井 和嘉子 |

講 師 紹 介

多田 千尋 (ただ ちひろ)

認定NPO法人芸術と遊び創造協会理事長、東京おもちゃ美術館館長。明治大学卒業後、プーシキン大学に留学。高齢者アクティビティ開発センター代表、早稲田大学、お茶の水女子大学講師を務める。2009年週刊ダイヤモンド「日本の社会起業家30人」の一人に選出、「2014クラウドファンディング」「2015ファンドレイジング」大賞受賞。

一川 誠 (いちかわ まこと)

千葉大学人文科学研究院教授。1965年生まれ。大阪市立大学文学研究科修了後、山口大学工学部助教授などを経て、現職。専門は実験心理学。著書に『大人の時間はなぜ短いのか』（集英社新書）など多数。日本科学未来館「時間旅行」展などの科学展示監修や日本テレビ系列「世界一受けたい授業」、NHK「爆問質問」などで解説を行った。

宮地 正人 (みやち まさと)

東京大学名誉教授。1944年生まれ。東京大学史料編纂所および国立歴史民俗博物館に勤務。専門は、明治維新研究。著書に『国際政治下の近代日本』『幕末維新変革史』『歴史のなかの新選組』『歴史のなかの「夜明け前」』『国民国家と天皇制』『地域の視座から通史を撃て！』など。

渡邊 晃 (わたなべ あきら)

太田記念美術館主幹学芸員。1976年東京生まれ。筑波大学大学院博士課程芸術学研究科修了。太田記念美術館にて「没後150年記念 歌川国貞」などの展覧会を担当。著書に『江戸の悪』（青幻舎）、『三代豊国・広重 双筆五十三次』（二玄社）、ほか。国立劇場歌舞伎公演プログラム「資料展示室」の構成・執筆を2011年から務めている。

酒井 和嘉子 (さかい わかこ)

二胡奏者。栃木県生まれ。2009年より二胡を始め、初年度より二胡検定上級に合格。現在、劉鋒氏に師事し、劉鋒二胡研究会公認講師に認定される。2013年7月、上海音楽学院主催「2013二胡大師班夏令營」修了。2015年8月、第4回華音杯（国際コンクール於アメリカ）海外部門金賞。

きほんの講座 ①-2

定員60名

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児◆幕末維新史 ～それぞれの正義～
(生涯学習基礎講座 歴史編)

講座番号 ①-2

時間：午前10時30分～正午
場所：築地社会教育会館
回数：5回
受講料：1,500円

主 題 今年は大政奉還から150年にあたります。幕末・維新の歴史は非常に複雑で、同時代の人々にとっても、ペリー来航以前の安定期のもとでの「天下泰平」からうってかわり、「内憂外患」の時代へ急激に移り変わり、予測不能な時期だったと思われる。そうした転換期のなかで、特に難局に直面したのが幕政を担う人物たちでした。

この講座では、阿部正弘・井伊直弼・安藤信正・久世広周・徳川家茂・松平春嶽・勝海舟・徳川慶喜および、その周辺の人物に触れながら、彼らが決断を迫られた局面と、予測困難な状況のもとで下した結論、さらにその影響を通じて、幕末の政局をわかりやすく論じていきます。

※この講座は、生涯学習サポーター養成コース生が優先されます。

| 回数 | 日程 | 講義内容 | 講師名 |
|-----|-----------|--------------------------|-------|
| 第1回 | 9/19 (火) | 老中阿部正弘と四賢侯 ～国難と挙国一致～ | 落合 弘樹 |
| 第2回 | 10/ 3 (火) | 大老井伊直弼の決断 ～譜代筆頭の苦衷～ | |
| 第3回 | 10/17 (火) | 安藤・久世老中の苦闘 ～「公武合体」と尊攘激派～ | |
| 第4回 | 10/31 (火) | 将軍家茂の上洛と勝海舟 ～「奉勅攘夷」への対応～ | |
| 第5回 | 11/ 7 (火) | 徳川慶喜と薩長連合 ～大政委任か大政奉還か～ | |

講師紹介

落合 弘樹 (おちあい ひろき)

明治大学教授・史学地理学科長。1962年大阪府生まれ。中央大学文学部史学科卒業後、同大学文学研究科博士課程後期課程退学。京都大学人文科学研究所助手などを経て現職。博士(文学、京都大学)。専門分野は日本近代史。著書に『西南戦争と西郷隆盛』(吉川弘文館)、『秩禄処分』(講談社学術文庫)ほか多数。

◆ボランティアのための傾聴講座 (生涯学習基礎講座 ボランティア編)

主題 対人関係に関わるボランティアにとって、「傾聴」は、必要な条件です。なぜならボランティアや地域での活動では、利用者さんの気持ち、意志、要望に応えるサービス・援助が求められるからです。また、活動をする仲間との意思疎通を円滑に行うためにも「傾聴」の姿勢はとても大切です。

「傾聴」の“相手の気持ちに寄り添って、相手の心を聴く”という理念を踏まえた上で、ボランティアが、善意の押しつけや自己満足に陥ることのないように、傾聴するための態度やスキルを体験学習を中心に習得して、より望ましいボランティア活動や地域活動を志していただきたいと思います。

企画・運営協力：中央区社会福祉協議会 ボランティア・区民活動センター
※この講座は、生涯学習サポーター養成コース生が優先されます。

講座番号 ①-3

時間：午後6時30分～9時
場所：中央区社会福祉協議会
大会議室
回数：5回
受講料：1,500円

| 回数 | 日程 | 講義内容 | 講師名 |
|-----|----------|-------------------------|---------------|
| 第1回 | 1/10 (水) | 「ボランティア活動の心構え」 | 箕輪 慎 三輪 健彦 |
| 第2回 | 1/17 (水) | 「望ましいボランティア像」と「傾聴」を理解する | NPO法人P.L.A講師 |
| 第3回 | 2/14 (水) | 「傾聴」を理解するための体験学習① | |
| 第4回 | 2/21 (水) | 「傾聴」を理解するための体験学習② | |
| 第5回 | 2/28 (水) | 研修のまとめとふりかえり | |

講師紹介

箕輪 慎 (みのわ まこと)

傾聴ボランティアグループ「うさぎの会」代表。傾聴ボランティアとしても区内福祉施設を中心に精力的に活動中。そのほか、区内の学校・企業などを対象とした体験出前講座の講師ボランティア、ちゅうおうボラネット（中央区登録ボランティア連絡協議会）副会長を務める。また、中央区健康福祉まつり実行委員長を3期、副委員長を2期務める。自身もNPO法人P.L.Aが講師を務めた本会主催傾聴ボランティア講座修了者でもある。

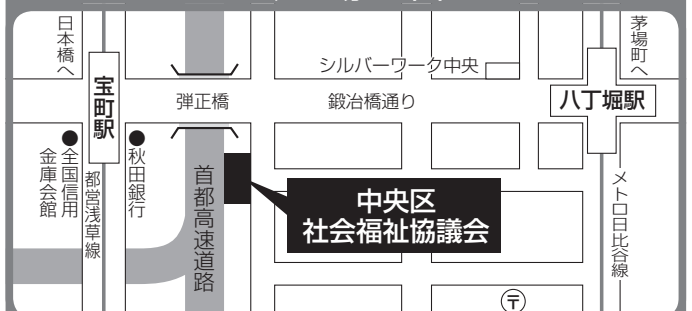
三輪 健彦 (みわ たけひこ)

TCC（東京カレッジ・オブ・カイロプラクティック）社会活動部顧問。日本で唯一の国際基準カイロプラクター養成校の講師を務める傍ら、同校のボランティア活動部の顧問を務めている。カイロプラクティック独自の観点による「姿勢検査」や講演会などのほか、地域のイベントの運営ボランティアなども行っている。現在ちゅうおうボラネット（中央区登録ボランティア連絡協議会）副会長を務めているほか、中央区健康福祉まつり実行委員会副委員長を4期務めた。

NPO法人パートナーシップアンドリスニングアソシエーション (P.L.A) とは

「“聴くこと”のできる人を育てる」ため、2005年11月に発足。年間200回以上の講座を開催し、傾聴ボランティア活動の普及に大きく貢献している。高齢者のための傾聴ボランティア養成を柱とし、コミュニケーション向上のための傾聴、ボランティアのための傾聴、施設職員のための傾聴、被災者支援のための傾聴など現代社会で必要とされる「傾聴」をより受講生の立場に沿った理論と実技とを取り入れた内容でどなたにも理解できるようにプログラムされている。

会場図



中央区八丁堀4-1-5 ☎3206-0560



9/15、10/6、10/27、11/17を除く

◆街歩き楽しみ隊

講座番号 ①-4

主 題 中央区を知り尽くしたまち案内のボランティアが、中央区の魅力をご紹介します。講義の回には、そのテーマの専門の先生方にお話を伺い、その次の回には、講義に関連した地域のまち歩きを楽しみます。

あなたもすっかり中央区通になること間違いなし！

時 間：午後2時～4時
場 所：築地社会教育会館ほか
 ※第2回、4回、6回、8回はまち歩き
回 数：8回
受講料：2,400円

企画・運営協力：中央区文化財サポーター協会

| 回数 | 日程 | 講義内容 | 講師名 |
|-----|-----------|------------------------------------|----------|
| 第1回 | 9/ 8 (金) | 水路に囲まれた日本橋の町を巡る | 菅原 健二 |
| 第2回 | 9/15 (金) | 【まち歩き】日本橋 | 文化財サポーター |
| 第3回 | 9/29 (金) | 月島・佃の生活景 | 志村 秀明 |
| 第4回 | 10/ 6 (金) | 【まち歩き】佃・月島 | 文化財サポーター |
| 第5回 | 10/20 (金) | 中央区の文豪・谷崎潤一郎 ～作品に見る日本橋と茅場町への思い～ | 千葉 俊二 |
| 第6回 | 10/27 (金) | 【まち歩き】人形町 | 文化財サポーター |
| 第7回 | 11/10 (金) | 銀座の街を彩る建築 ～明治から現在まで～ | 倉方 俊輔 |
| 第8回 | 11/17 (金) | 【まち歩き】銀座 | 文化財サポーター |

講師紹介

菅原 健二 (すがわら けんじ)

司書、中央区立京橋図書館地域資料室担当。中央区立京橋図書館にて『中央区沿革図集（京橋篇・日本橋篇・月島篇）』、『Jr中央区文化・歴史ずかん』の編集などを担当、江戸・東京の都市史を研究する。主な著書に『川の地図辞典～江戸・東京23区編～』、『川の地図辞典～多摩東部編～』（共に之潮）、『川跡からたどる江戸・東京案内』（洋泉社）。共著に『比較考証 江戸東京古地図散歩』（新人物往来社）など。

志村 秀明 (しむら ひであき)

芝浦工業大学教授。博士（工学）。専門は都市計画、まちづくり。1968年月島生まれ、月島在住。「月島長屋学校」(<http://www.tsukishima.arc.shibaura-it.ac.jp>)を2013年10月に開校し主宰している。月島路地マップやTsukishima Walking Guidebookを学生と共に製作するなどして、月島のまちづくりを支援している。主な著書に『月島再発見学』（アニカ）、共著に『まちづくりデザインゲーム』、『生活景』（共に学芸出版社）など。2006年度「日本建築学会奨励賞」受賞。

千葉 俊二 (ちば しゅんじ)

早稲田大学教授。研究対象は、谷崎潤一郎・森鷗外などを中心とした明治・大正・昭和期の近代小説全般。著書に『谷崎潤一郎：狐とマゾヒズム』（小沢書店）、『エリスのえくぼー森鷗外への試み』（小沢書店）、『物語の法則ー岡本綺堂と谷崎潤一郎』（青蛙房）、『物語のモラルー谷崎潤一郎・寺田寅彦など』（青蛙房）、『谷崎潤一郎の恋文ー松子・重子姉妹との書簡集』（中央公論新社）など。

倉方 俊輔 (くらかた しゅんすけ)

建築史家、大阪市立大学准教授。著書に『東京レトロ建築さんぽ』（エクスナレッジ）、『東京建築みる・あるく・かたる』（京阪神エルマガジン社）、『吉祥寺ハモニカ横丁のつくり方』（彰国社）、『吉阪隆正とル・コルビュジエ』（王国社）など。日本最大の建築公開イベント「イケフェス大阪」実行委員会委員を務め、2017年度「日本建築学会賞（業績）」受賞。

中央区文化財サポーター協会とは

中央区の養成講座修了生で構成されたまち歩きのボランティア団体で、歴史・文化・伝統ある中央区の史跡・旧跡・名所など、とっておきの見どころを楽しく、親切にご案内しています。



2/5、2/19を除く

◆文楽の世界を楽しむ

講座番号 ①-5

時 間：午後2時～4時

※第4回、5回は午前10時～

場 所：築地社会教育会館ほか

※第4回、5回は国立劇場

回 数：5回

受講料：1,500円

観覧料：5,400円（予定）

イヤホンガイド代：450円

（希望者のみ）

主 題 日本の伝統芸能で、ユネスコ無形文化遺産でもある文楽（人形浄瑠璃）について、その魅力を5回にわたり紹介します。今までご覧になったことがない方、見巧者の方もぜひご参加ください。文楽の歴史から、人形、義太夫、三味線、見どころ聞きどころの解説、舞台鑑賞まで、文楽をまるごと楽しめる講座です。第1回～3回の講義では、現在活躍中のイヤホンガイド解説員が映像や資料を使い、分かりやすく楽しく文楽の世界へ誘います。第4回は国立劇場で元文楽舞台監督のお話を聞き、第5回は技芸員の方の実演を交えたお話を聞いた後に、文楽公演を実際に鑑賞します。

鑑賞当日は、同時解説イヤホンガイドがご利用いただけます。（有料・希望者のみ）

※はじめて受講される方が優先されます。

| 回数 | 日 程 | 講 義 内 容 | 講 師 名 |
|-----|---------|----------------------|---------------|
| 第1回 | 1/15（月） | 文楽の歴史について | 高木 秀樹 |
| 第2回 | 1/22（月） | 世界一の人形芝居 | |
| 第3回 | 1/29（月） | 名作鑑賞の勘どころ | |
| 第4回 | 2/ 5（月） | 元文楽舞台監督のお話&観劇の見どころ解説 | 松尾 宰 高木 秀樹 |
| 第5回 | 2/19（月） | 技芸員のお話&観劇 | 技芸員 |

講 師 紹 介

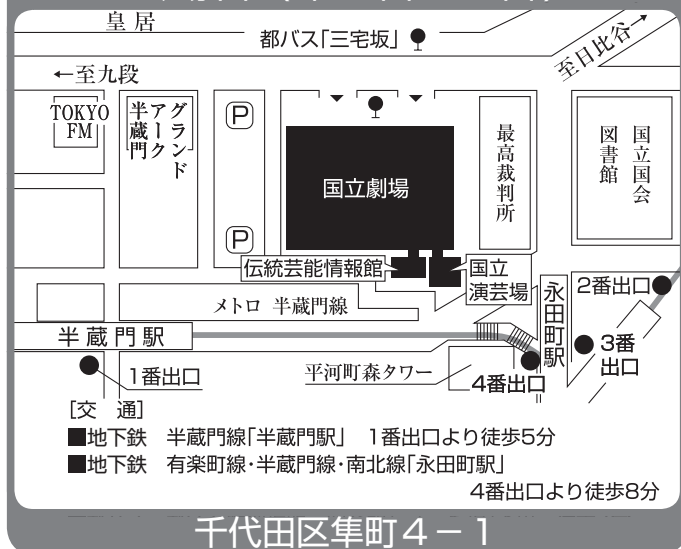
高木 秀樹（たかぎ ひでき）

イヤホンガイド解説員、文楽研究家、大学講師。NHK教育テレビ「文楽鑑賞入門」講師。著書に『あらすじで読む名作文楽50』（世界文化社）、『文楽手帖』（角川ソフィア文庫）。

松尾 宰（まつお つかさ）

元日本芸術文化振興会国立劇場舞台技術部副部長。30年にわたり国立劇場・国立文楽劇場・国立劇場おきなわなどで舞台運営業務に携わる。

会場図（第4回、5回）



2017年2月文楽公演写真（国立劇場提供）